



授業デザインミーティング実施

今年度、全校縦割りでの授業デザインミーティングを3回計画しています。1回目は、児童生徒の思いや願いを基に担任が考えた単元や授業内容について様々な意見、アイデアを出し合いました。今回は、中学部の保健体育と中学部2年職業・家庭科の様子についてお伝えします。

中学部 保健体育 授業デザインシート

学習グループの実態

- ・31名
- ・実態差があり、球技における技能の習得が難しい生徒もいる。やらされている感の生徒もいる。
- ・昨年度、行事等で期間が空いてしまったため、技能の向上があまり見られなかった。
- ・勝負事では、勝ちたい気持ちが見られる。
- ・ラジオ体操や、ダンス等での動きがぎこちない。
- ・ルール等複雑な球技が難しい。

子どもの思いや願い（自立活動の視点も含む）

- ・楽しく活動をしたい。
- ・特総体で勝ちたい。

学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い

- ・生徒の実態関係なく全員が運動量の確保ができるような活動内容の検討や場の設定。
- ・活動への意欲・やる気。
- ・一人一人の体力、技能の向上。
- ・一体感のある授業。

年間の単元計画

- ・運動会に向けて（徒競走 全員リレー 綱引き）
- ・体づくり
- ・水泳
- ・特総体に向けて（各種目を選択して取り組む）
- ・球技（サッカー）
- ・武道（剣道）
- ・器械運動（マット運動 跳び箱 平均台）
- ・保健

教師の支援（手立て）

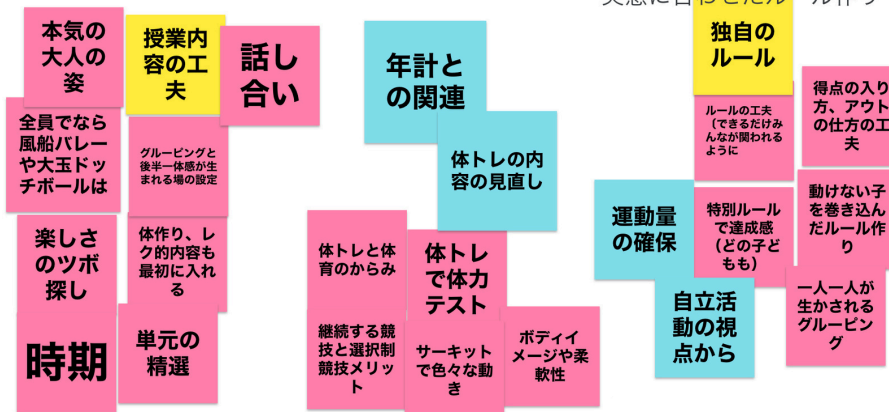
- ・時間いっぱい楽しんで活動することができるよう、グループ編成を工夫する。

授業の工夫（しかけ）

- ・実態別の活動を組み込む。どちらのグループも運動量を確保できるよう、場所の検討をする。

<ジャムボードによる話し合いから>

実態に合わせたルール作り



アイデアのまとめ

- ・毎日の体力トレーニングと体育の授業との関連。つながりを考えて内容の見直しをする。
- ・運動量を確保する。
- ・生徒の実態に合わせたルールを工夫する。
- ・グループビンゴを工夫し、みんなが関わったり、動いたりできるようにする。
- ・サーキットやボディイメージをもつことができる動きを取り入れる。

学習グループの実態

- ・小学部から5名、小学校から4名の計9名。実態差は大きい。繰り返しの活動で自分のすることが分かる。
- ・できることは多いが、面倒くさがり、生活リズムや身だしなみ、食生活が乱れがちである。
- ・食べることへの関心が高い生徒が多い。

子どもの思いや願い（自立活動の視点も含む）

- ・働いてお金を稼ぎたい。
- ・身の回りのことを一人でできるようになりたい（洗濯、調理など）。
- ・友達と仲良く過ごしたい。
- ・健康に気を付けて生活したい。
- ・自分の頑張りを認めてもらいたい。

学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い

- ・働くために必要な力が分かり、日々の学習で意識して取り組む。
- ・学んだことを実際の場で生かす（自信をもって）。
- ・食事、睡眠、ゲーム・スマートフォンの使用時間に気を付け、規則正しい生活を自分から送ろうとする態度。
- ・自分や友達のよい所に気付き、伝えたり、認め合ったりする。

年間の単元計画

- ・働く生活～先生たちへインタビュー～
- ・目指せ！接客マスター～〇〇屋さん開店に向けて～（仮）
- ・職場見学（B型事業所）
- ・調理をしよう（バランスのよい食事）＊生単で調理をするからいらないか？
- ・清潔な身だしなみ（洗濯など）
- ・家庭での役割（長期休業）
- ・リサイクル、ごみの分別など
- ・「未来へのスケッチ」作成

教師の支援（手立て）

- ・体験的な学習をし、タブレット端末で振り返る。
- ・学習したことを振り返ったり、活用したりするためのワークシートや掲示物。
- ・家庭分野に関しては、学校での取り組みを家庭に伝え、経験値アップ。

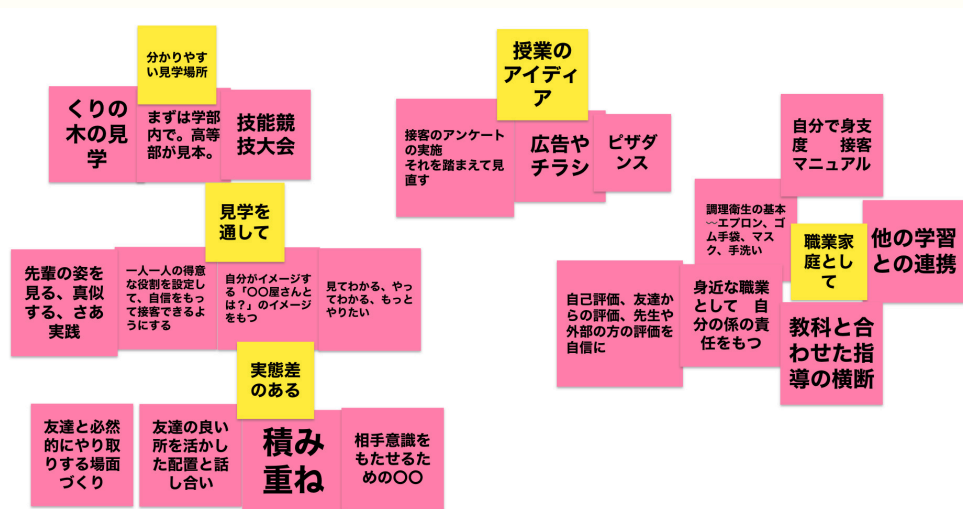
授業の工夫（しかけ）

- ・他教科（生活単元学習や作業学習など）と関連付けて指導する。
- ・校内や地域の専門家からアドバイスをもらう。
- ・体験的な学習を繰り返し、知識・技能の定着を目指す。

関連する各教科等（内容を含む）

- ・国語科（読む、書く、話す） ・数学科（計量・計測・お金など）
- ・保健体育（清潔、体力、規則正しい生活）
- ・生単（役割分担、コミュニケーション） ・作業学習（挨拶、返事、言葉遣い・身だしなみ）
- ・日常生活（挨拶・身だしなみ・物の管理、時間など）

<ジャムボードによる話し合いから>



アイディアのまとめ

- ・得意な役割を設定して自信をもって活動する。
- ・本物を見学してイメージをもつ。
- ・友達と関わる必然性の設定や配置の工夫をする。
- ・接客の際にアンケートやチラシなどを活用する。
- ・調理の基本を押さえて指導する。
- ・他の教科と連携しながら取り組む。